

環境活動レポート

(対象期間 2010年04月～2011年03月)



作成日 2011年 05月 01日

株式会社サンリッチ

1. 事業概要	1
2. 環境方針	2
2.1 行動指針	2
3. 主な環境負荷	3
4. 環境目標	3
5. 環境活動計画	4
6. 環境活動計画取組みと評価	5
7. 環境の取組みの詳細	6
7.1 電気	6
7.2 水	6
7.3 廃棄物	6
7.4 化石燃料	6
7.5 グリーン購入	6
7.6 その他活動	6
7.7 環境活動結果の評価	7
7.8 次年度取組み予定	8
8. 環境関連法規などの遵守状況	9
9. 経営者見直し	9
10. 組織図と役割分担	10
・ 環境方針を策定する。	10
11. 社会活動	11

1. 事業概要

事業者名及び代表者名

株式会社サンリッチ
代表取締役社長 長谷川 剛

所在地

〒252-0202
相模原市中央区淵野辺本町 2-1-8

環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 森口 義弘
担当者 森口 義弘
TEL 042-753-4649
FAX 042-769-3310
URL <http://www.sunrich.co.jp>

事業内容

プリント基板検査装置関連の企画・設計・製造・販売
マイコン応用機器の企画・設計・製造・販売
ファーム・ソフトウェア開発

事業規模

資本金	1000 万円
売上高	11000 万円(会計年度：2009 年 6 月 1 日～2010 年 5 月 31 日)
従業員数	11 人
述べ床面積	68.25 m ²

2. 環境方針

株式会社サンリッチは、社会の一員として、地球環境保全が人類共通の課題であると認識し、事業活動において環境保全に配慮し、全社員一丸となって環境保全に取り組むことにより、住み良い社会の実現と次世代・次々世代への継承に貢献します。

2.1 行動指針

1. 具体的な取組み内容

- ① CO2 排出量の削減
 - ・ 電気使用量の削減
 - ・ 社用車の効率的利用の推進
- ② 廃棄物排出量の削減
 - ・ ゴミの分別（紙、プラスチック etc）の徹底を推進
 - ・ 廃棄物の 3R（減量、再使用、再生利用）の推進
- ③ 水道水の使用量削減
- ④ 事務用品のグリーン購入の推進
- ⑤ マイ箸・マイバッグの使用の推進

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 地域社会における環境保全活動に対し、積極的に参加し、地域貢献活動を推進します。
3. 関連する環境関連の法規制、条例及びその他の要求事項を順守します。
4. 環境活動レポートを作成し、全社員に周知徹底するとともに、社内外へ公表します。
また、協力会社様へも周知し、理解と協力を得ます。

2010年 02月 01日
株式会社 サンリッチ

代表取締役 長谷川剛

3. 主な環境負荷

項目	排出元	2008年	2010年	単位
二酸化炭素排出量	電力※・燃料・廃プラ	13,142	13,584	kg-CO2/年
一般廃棄物排出量	紙類・缶瓶 その他可燃・不燃	—	349.3	kg/年
産業廃棄物排出量	なし	なし	なし	kg /年
総排水量	上下水道	120	150	m ³ /年

(※購入電力の係数は0.384(kg-CO2/kwh)換算で行っています。)

弊社は化学物質の使用はしていません

4. 環境目標

基準年度を2008年とし、廃棄物・※CO2排出量・排水量の年間1%削減を目標として、3ヵ年3%削減を掲げています。電力の使用量については、2010年度に大幅に削減となったので、目標値を変更いたしました。また、廃棄物削減とグリーン購入は、2010年を基準年度とします。

(※当レポートではCO2排出量は「環境省・報道発表資料 平成22年12月27日」版を使用しています。)

大項目	項目名	基準値 (2010年度実績値)	2010年度目標	2011年度目標	2012年度目標
廃棄物削減	紙の削減 廃棄物の削減	紙 104.8kg 廃棄 349.3kg	データ取り	2010年度比-1% 紙 103.7kg 廃棄 345.8kg	2010年度比-2% 紙 102.7kg 廃棄 342.3kg
グリーン購入	エコマーク製品購入の推進 (事務用品の使用割合を増やす)		データ取り	2010年度基準値 2010年度比+10%	2010年度基準値 2010年度比+20%
大項目	項目名	基準値 (2008年度実績値)	2010年度目標	2011年度目標	2012年度目標
CO2排出量削減	ガソリンの使用量の削減	社用車2台 社員人数あたり 369.4ℓ 857.6kg-CO2	2008年比-1% 365.7ℓ以下 849kg-CO2	2008年比-2% 362ℓ以下 840.4kg-CO2	2008年比-3% 358.3ℓ以下 831.8kg-CO2
	電力の使用量の削減	社員人数あたり 2642kWh 1014.5kg-CO2	2008年比-1% 2615.6kWh以下 1004.4kg-CO2	2008年比-30% 1849.4kWh以下 710.1kg-CO2	2008年比-35% 1717.3kWh以下 659.4kg-CO2
節水	水使用量の削減	社員人数あたり 17.1m ³ 以下	2008年比-1% 16.9m ³ 以下	2008年比-2% 16.7m ³ 以下	2008年比-3% 16.5m ³ 以下
社会活動	事務所周辺の清掃	毎週初め実施	毎週初め実施	毎週初め実施	毎週初め実施

5. 環境活動計画

2010年4月～2011年3月までの環境活動計画のスケジュールです。

環境目標	目標達成手段	単位	第1 四半期			第2 四半期			第3 四半期			第4 四半期		
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
廃棄物削減	両面印刷か裏紙を使用すること ゴミの分別を徹底 廃棄分別の徹底	目標 紙/廃棄 kg	データ取り											
電力消費量削減	エアコンの設定温度を適正化 (冬：22℃ 夏：27℃) 昼間は消灯を行う 便座の蓋を必ず閉める 長時間使用しない機器は 電源をOFFにする	目標 kWh	653.9			653.9			653.9			653.9		
水の消費削減	こまめに蛇口を閉める トイレタンクにペットボトルを沈める	目標 m ³	4.2			4.2			4.2			4.2		
燃料消費削減	タイヤの空気圧を点検 外出時の経路の適正化 アイドリングストップをおこなうこと	目標 ℓ	91.4			91.4			91.4			91.4		
グリーン購入	使い捨て製品使用や購入を控え、 再利用可能なものや再生品、 リサイクルを行いやすい製品を 優先的に購入する。	目標	データ取り											

6. 環境活動計画取組みと評価

2010年4月～2011年3月までの環境活動計画の取組みとその結果の評価です。

環境目標	目標達成手段	目標	運用期間(2010.4～2011.3)	達成状況
廃棄物削減	両面印刷か裏紙を使用すること ゴミの分別を徹底 廃棄分別の徹底	紙/廃棄kg	データ取り	年間基準値を定める為のデータ 取得期間とした。 廃棄の合計は年間349.3kg、 紙は104.8kgとなった。 この値を基準値とする
		kg CO2排出 kg	紙 104.8kg 廃棄(紙含) 349.3kg 293.41kg	
電力消費量削減	エアコン設定温度を適正化させる (冬:22℃ 夏:27℃) 昼間は消灯を行う 便座の蓋を必ず閉める 長時間使用しない機器は 電源をOFFにする	kWh CO2排出 Kg	2615.6kWh 1014.5kg	目標達成度:○ 31%減 目標-1%であったが、大幅な削減 となった。 来年度では社内の規模も変わる ため、削減目標を変更する。
		実績 kWh kg	1821.5kWh 699.46kg	
水の消費削減	こまめに蛇口を閉める トイレタンクにペットボトル沈下	m ³	16.4 m ³	目標達成度:○ 1.4%減 来年度は設備のほうも視野に入れ たい。
		実績 m ³	16.35 m ³	
燃料消費削減	タイヤの空気圧を点検 外出時の経路の適正化 アイドリングストップをおこなう	ℓ CO2排出 Kg	365.6ℓ 840.9kg	目標達成度:○ 24%減 大幅に下がっているのは 削減努力もそうだが、現状の経済 状況の影響も多々有り。
		実績 ℓ kg	283ℓ 657kg	
環境教育訓練	一般教育(3ヶ月1回)	実績	勉強会開催 年2回/年4回	目標達成度:× 3ヶ月に一度と決めていたが、 明確なスケジュールをたててい なかった為、来年度では月日を決 めて行う。
グリーン購入	エコマーク付き事務用品の購入 ・ボールペン ・シャープペン ・セロハンテープ ・両面テープ ・封筒 ・付箋 ・ファイル ・コピー用紙	割り %	データ取り	データ取得期間とした。 社内で使用している事務用品で 割合を算出した。来年度からは、 この割合を増やしていくことを 目標とする。
		実績 %	購入0 社内事務用品のエコマーク率	
社会活動	毎週始めの会社周辺清掃	判定	○	目標達成度:○
項目ごとに ○ × △ を記入する。 ○ … 90%以上 △ … 60%以上 90%未満 × … 60%未満				

7. 環境の取組みの詳細

7.1 電気

- ① 必要な場所だけ点灯する。
- ② 低消費電力の蛍光灯に交換し、2本使いから1本に減らす。
- ③ 昼休みは、必ず消灯する。
- ④ 電源 SW 周辺に「省エネ」を促す掲示物を貼り出す。
- ⑤ トイレや、給湯室の照明は、必要時のみ点灯させ、未使用時は必ず消灯する。
- ⑥ トイレの蓋をしめ、便座の保温効果を高める。
- ⑦ 夏季は軽装によるクールビズを、冬季は重ね着によるウォームビズを推進し、所定温度での快適な業務を行う服装を励行する。
- ⑧ ブラインド、カーテンなどで直射日光の調節、窓の開閉により冷暖房の効果を高める。
- ⑨ 空調の適正な使用を徹底するため、暖房の設定温度は22℃、冷房は27℃にする。
- ⑩ 外出などでPCが未使用になる場合は電源を落とす。
- ⑪ 席を離れるなどPCを一次的に使用しない場合は、モニターオフにする。
- ⑫ 退社時は、TVの電源コードを抜く。
- ⑬ 無駄なコンセントは外す。

7.2 水

- ① 手洗いや食器の洗浄時には蛇口をこまめに閉める。

7.3 廃棄物

- ① 印刷可否の等級わけを行う
- ② 会議用資料の印刷時は、両面印刷を行う。
- ③ 個人用資料は両面印刷か使用済用紙の裏紙を使用する。
- ④ 使い捨て製品の使用や購入を控え、再利用可能なものや再生品、リサイクルを行いやすい製品を優先的に購入する。
- ⑤ 資源ごみの分別ボックスを判りやすいように表記し分別を徹底させる
- ⑥ マイ箸、エコバックを持参し、ゴミの削減に努める。

7.4 化石燃料

- ① タイヤを点検する。
- ② 最短距離になるように計画する。
- ③ エコドライブを心がける

7.5 グリーン購入

- ① 事務用品のエコマークなどの環境規格製品を優先的に購入する。

7.6 その他活動

- ① 毎週はじめに会社周辺の清掃を行う。

7.7 環境活動結果の評価

	環境目標	環境活動結果の評価
1	消費電力の削減	大幅な消費電力の削減が行えたと思う。 必要の無い蛍光灯の消灯や、機器の電源 OFF などの節電は社内で浸透している。
2	燃料消費削減	燃料消費については、遠距離の営業先には公共交通網を利用する事で、社用車の使用を抑えることができた。 しかし、月のタイヤ圧点検が記録で確認できておらず、よりよい浸透方法を模索しなければならない。
3	産業廃棄物排出量の削減	基準年データが無かった為、データ取得期間とした。 ゴミの分別は社内でかなり浸透している。 コピー紙の使用について、資料などは両面印刷や、裏紙印刷が出来てきている為、電子化をすすめるべきと思われる。
4	グリーン購入の推進	年間を通し、在庫を使用しきることが無かったため、データを得ることが出来なかった。そのため、現状の事務用品のグリーン購入率を算出し、エコマーク対象商品等の比率を拡大させていく方向に変更していく。
5	総排水量の削減	節水意識は浸透している。更なる削減の為に節水コマの導入を検討する。

7.8 次年度取組み予定

次年度取組み(2011年度)は2010年度の取組みを引き続き行うと共に新規取組みも取り入れ、活動していく。

環境目標	取組み活動(目標達成手段)
廃棄物削減	<ul style="list-style-type: none"> ・両面印刷か裏紙を使用すること ・ゴミの分別を徹底 ・廃棄分別の徹底
電力消費量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコン設定温度を適正化させる(冬:22℃ 夏:27℃) ・昼間は消灯を行う ・便座の蓋を必ず閉める ・長時間使用しない機器は電源をOFFにする
水の消費削減	<ul style="list-style-type: none"> ・こまめに蛇口を閉める ・トイレタンクにペットボトル沈下 ・節水こまの取り付け(新規)
燃料消費削減	<ul style="list-style-type: none"> ・タイヤの空気圧を点検 ・外出時の経路の適正化 ・アイドリングストップをおこなうこと
環境教育訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・一般教育(3ヶ月1回)
グリーン購入	<p>エコマーク付き事務用品の購入(対象事務用品)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールペン ・シャープペン ・セロハンテープ ・両面テープ ・付箋 ・ファイル ・封筒 ・コピー用紙
社会活動	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週始めの会社周辺清掃

8. 環境関連法規などの遵守状況

	該当する環境関連法規制	遵守評価
	廃棄物処理法	遵守している
	家電リサイクル法	遵守している
	リサイクル法	遵守している
	自動車リサイクル法	遵守している
	グリーン購入法	遵守している
	神奈川県生活環境保全等に関する条例	遵守している
	相模原市環境保全に関する条例	遵守している

環境関連法規などの遵守状況評価の結果、違反はありませんでした。

今期は産業廃棄物の発生に対応するため産業廃棄物取り扱い業者との契約を締結いたしました。
なお、関係当局より、違反等の指摘は過去三年間ありません。

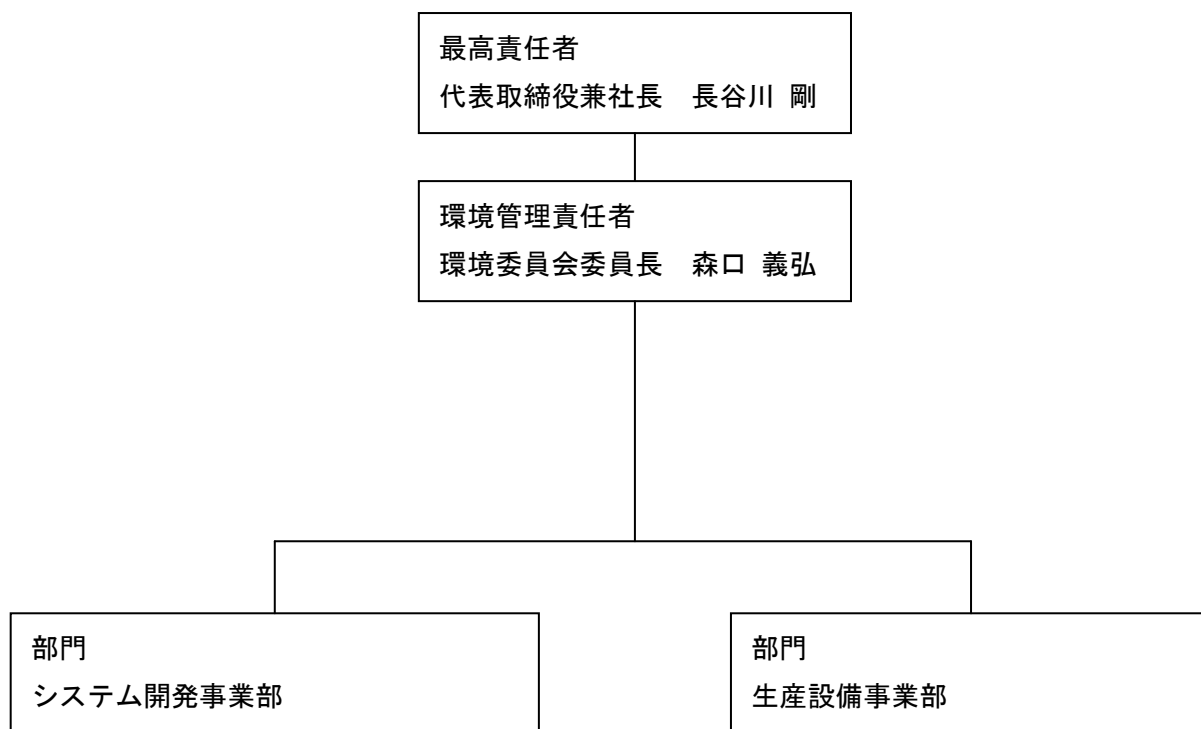
9. 経営者見直し

さまざまな環境に対する取り組みをしてきましたが、エコアクション21に取り組むことにより、定量的な数値目標を掲げ、大幅な削減効果を実感しました。

今後も環境委員会を中心に、新たな目標値を掲げ、社員一人ひとりが環境保全に対する意識を持ち、企業責任を果たし、地域社会に貢献することができればと思います。

なお、見直しの結果、環境方針、環境経営システムの変更はありませんが、環境目標、環境活動計画においては、数値をさらに上乗せして、活動することにしました。

10. 組織図と役割分担



役割	内容
最高責任者 代表取締役兼社長 長谷川	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針を策定する。 EA21 の実行に必要な資源（人・もの・金）を用意する。 環境管理責任者を任命する。 EA21 の全体的な取組状況を評価し、見直すと共に必要な指示を行う。
環境管理責任者 環境委員会 委員長 森口	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムを構築し維持する。 環境経営システムの構築・運用状況を社長に報告する。 環境活動レポートを取りまとめる。 環境管理推進委員会を開催する。
部門 システム開発事業部 生産設備事業部	<ul style="list-style-type: none"> 環境教育の推進と環境活動計画への取組みを実践する。
全社員	<ul style="list-style-type: none"> 環境活動計画への取組みを実践する。

11. 社会活動

弊社では毎週はじめに弊社を開始地点として、周辺1kmに渡って清掃活動を行っています。
近隣の方からいつも温かいお言葉をいただいております。

今後も地域美化に協力するため、続けていきたいと思っております。